

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公開番号】特開2009-273167(P2009-273167A)

【公開日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-046

【出願番号】特願2009-191384(P2009-191384)

【国際特許分類】

H 0 4 W 88/06 (2009.01)

H 0 4 W 72/08 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/06 (2009.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 6 5 3

H 0 4 Q 7/00 5 5 4

H 0 4 Q 7/00 5 4 8

H 0 4 Q 7/00 5 4 7

H 0 4 Q 7/00 5 5 3

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月9日(2010.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】基地局及び受信方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 3】

本基地局は、

複数のサブキャリアが含まれたシステム帯域のうちの少なくとも一部の部分帯域において、一定間隔で離散的に選択したサブキャリアにマッピングされたパイロット信号を移動局から受信する受信部と、

前記受信部において受信したパイロット信号を処理する処理部と、

前記受信部において受信すべきパイロット信号の送信元になる移動局に対して、部分帯域を設定させるために周波数および帯域幅を指定する指示部と、

を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

本受信方法は、

複数のサブキャリアが含まれたシステム帯域のうちの少なくとも一部の部分帯域において、一定間隔で離散的に選択したサブキャリアにマッピングされたパイロット信号を移動局から受信するステップと、

受信したパイロット信号を処理するステップと、

受信すべきパイロット信号の送信元になる移動局に対して、部分帯域を設定させるために周波数および帯域幅を指定するステップと、

を備える。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のサブキャリアが含まれたシステム帯域のうちの少なくとも一部の部分帯域において、一定間隔で離散的に選択したサブキャリアにマッピングされたパイロット信号を移動局から受信する受信部と、

前記受信部において受信したパイロット信号を処理する処理部と、

前記受信部において受信すべきパイロット信号の送信元になる移動局に対して、部分帯

域を設定させるために周波数および帯域幅を指定する指示部と、
を備えることを特徴とする基地局。

【請求項 2】

前記受信部において受信したパイロット信号には、周波数ホッピング方式によるマッピングがなされていることを特徴とする請求項 1 に記載の基地局。

【請求項 3】

前記受信部において受信したパイロット信号には、送信電力制御がなされていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の基地局。

【請求項 4】

前記受信部において受信したパイロット信号には、パイロット信号の帯域幅に応じた送信電力制御がなされていることを特徴とする請求項 3 に記載の基地局。

【請求項 5】

複数のサブキャリアが含まれたシステム帯域のうちの少なくとも一部の部分帯域において、一定間隔で離散的に選択したサブキャリアにマッピングされたパイロット信号を移動局から受信するステップと、

受信したパイロット信号を処理するステップと、

受信すべきパイロット信号の送信元になる移動局に対して、部分帯域を設定させるために周波数および帯域幅を指定するステップと、

を備えることを特徴とする受信方法。

【請求項 6】

前記受信するステップにおいて受信したパイロット信号には、周波数ホッピング方式によるマッピングがなされていることを特徴とする請求項 5 に記載の受信方法。

【請求項 7】

前記受信するステップにおいて受信したパイロット信号には、送信電力制御がなされていることを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の受信方法。

【請求項 8】

前記受信するステップにおいて受信したパイロット信号には、パイロット信号の帯域幅に応じた送信電力制御がなされていることを特徴とする請求項 7 に記載の受信方法。